

植物標本が繋いだ徳島との縁～植物研究家・笠井文夫氏の足跡を辿る～

加藤ゆき恵*

2020年春の博物館臨時休館中に、植物収蔵庫で明治時代の徳島県で採集されたシダ植物標本を発見したことは、同年発行の館報426号で報告しました（加藤2020）。その後、徳島県立博物館との共同研究が始まり、郷土史家の方のご協力も得て、謎だった「笠井文夫」さんの足跡が少しづつ明らかになっていきました。

笠井氏は徳島と釧路で学校の先生を務めながら植物の調査を続け、牧野富太郎や札幌農学校の研究者とも交流のあった日本の植物学黎明期の植物研究家ということが分かり（右表）、我々の3年以上に及ぶ共同研究の成果は学術論文（短報）として植物研究雑誌に掲載されました（茨木ほか2025）。

研究成果の公開を機に、笠井氏の出身地に近い徳島県美馬市の図書館で開催された徳島県立博物館の出張展示でこの研究成果を取り上げることになり、釧路市立博物館の標本を貸し出しました。そして、展示期間中に講演の機会をいただき、7月上旬に猛暑の徳島県へ行ってきました。

会場の美馬市立図書館はとてもおしゃれな図書館でした。館内のフリースペースに笠井氏を紹介するパネル、笠井氏採集の明治時代のシダ標本（当館資料）、シダ標本が採集された四国山地の植物の写真が展示されていました。



展示会場にて共同研究者と（写真提供：徳島県立博物館）



展示の様子

表 笠井文夫氏略年表

1883 (明治 6)	徳島県麻植郡西尾村（現吉野川市鴨島町）で生まれる
1899 (明治 32)	西麻植尋常小学校着任（徳島県）
1900 (明治 33)	徳島師範学校師範科入学
1904 (明治 35)	徳島師範学校師範科卒業
1907 (明治 40)	川井小学校訓導（徳島県）
1909 (明治 42)	同校校長
1912 (明治 45 大正元)	同校退任・釧路移住 厚岸尋常高等小学校代用教員
1913 (大正 2)	同校訓導
1916 (大正 5)	舌辛尋常高等小学校訓導兼校長
1917 (大正 6)	上徹別尋常小学校校長を兼務
1919 (大正 8)	太田尋常小学校校長（厚岸町）
1922 (大正 11)	釧路高等女学校着任
1932 (昭和 7)	同校退任、さくらや手芸店経営
	没年不明

講演会の前には徳島県立博物館の茨木靖学芸員による展示解説があり、その後に約1時間、笠井氏の足跡を辿った道のりについてお話ししました。なじみの人がいない場所での講演は不安がありましたが、たくさんの方がご参加くださいり、質問も出てとても充実した時間を過ごすことができました。

5年前にはネットで検索しても驚くほど情報がなかったのに、今は研究成果や展示の情報がヒットするようになりました。2025年に発行された『吉野川市の文化・教育・産業に尽くした人々』にも笠井氏が掲載され、歴史に埋もれていた植物研究家が広く知られるきっかけを作ることができたということを、とても嬉しく思います。

今後、交流展示の開催などで、標本が繋いでくれた徳島との縁を途切れさせず、未来へつなげて行きたいと考えています。

[文献]

- 茨木 靖・久米啓介・加藤ゆき恵・梯 清二・古山道子・藤本高次・藤井吉信. 2025. 徳島県及び釧路周辺における日本植物学黎明期の植物研究家・笠井文夫の足跡について. 植物研究雑誌, 100:173-181.
加藤ゆき恵. 2020. 収蔵庫で確認された明治期のシダ植物標本. 釧路市立博物館館報, 426: 5.



吉野川市の文化・教育・産業に尽くした人々編纂委員会. 2025. 吉野川市の文化・教育・産業に尽くした人々. 吉野川市の文化・教育・産業に尽くした人々編纂委員会, 吉野川.